

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立熊谷農業高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	専門学科の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。文言等の検討・整理を行うとともに、学校に寄せられる期待に十分応え、更に学校の特色や強みを生かしたものとなるようにしていただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。保護者・地域などの期待や生徒の実態を踏まえ、中期的な視点から、課題などを更に検討・整理して、具体的なかつチャレンジングな目標とすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会と分掌・学科・学年等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。中間での進捗状況の確認を学校評価懇話会の機会に行うなど、本システムが組織的かつ適切に運営されている。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	評価項目の達成に向けて遅刻入室カードを導入するなど様々な方策が実施され、遅刻者数の減少など具体的な成果が上がっている。評価指標については、何を、いつまでに、どの程度行うのかといった視点から、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長的的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が学校の課題を踏まえた明確な学校経営の方針を持ち、様々な機会を通じて教職員の共通理解を深めている。校長的的確なリーダーシップの下、課題の解決に向けて各組織を適切に機能させ、教職員全体で組織的な取組を展開している。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価などを基に、取組を検証するための情報収集に努めている。前年度と同様の課題や評価項目が示されている。達成状況の検証を踏まえて、取組の改善・更新を行い、スパイラルアップを図るようにしていただきたい。	
特記事項			